

2023年 8月 31日

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

【日本でのチャリティー・寄付・SDGs への参加を促進したい！】

**9月5日の「国際チャリティー・デー」に合わせ、Instagram への投稿で
誰もが気軽に参加できるチャリティー・キャンペーンを今年も開催！**

～特設サイトはこちら <https://www.jcv-jp.org/sharefor1smile>～

報道関係者各位

「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下 JCV）では、日本におけるチャリティーや寄付、SDGs への参加を促進するため、9月5日（火）の「国際チャリティー・デー」に合わせ、Instagram の投稿で誰もが気軽にチャリティーに協力できる、「小さな幸せ、ひとつのワクチン」チャリティーキャンペーンを今年も開催します。

ハートの写真に、「#ハートアクション」を付けて Instagram に投稿すると、1投稿につきポリオやはしかなどのワクチン 1人分が途上国の子どもたちに贈られます。昨年も開催したキャンペーンでは多くのご参加をいただき、1万 1,989 件もの投稿が集まりました。

（特設サイト：<https://www.jcv-jp.org/sharefor1smile>）



このキャンペーンを通して、以下の SDGs の目標に貢献できます。



【Instagram を“幸せ” “平和” “命”を象徴する「ハート」で溢れさせたい】

あなたは、ハートから何をイメージしますか？ハートのかたちをした可愛いあの商品、子どもがお絵描きした大きなハートの絵、写真を撮るときの決めポーズ、ふわふわしたハートのかたちの雲…。周りを見渡せば、日常にはたくさんのハートが溢れています。ハートは、誰もが大切にする“幸せ”や世界中のみんなの“平和”、そして“命”そのものを象徴するマーク。たくさんのちいさな幸せを私たちに運んでくれます。

「小さな幸せ、ひとつのワクチン」チャリティー・キャンペーンでは、皆さんの「ちいさな幸せ」＝「ハート」で「ワクチン」を贈り、世界の子どもたちにも“幸せ”をお裾分けしたい。そんな想いを込めて企画しました。ぜひ、この期間に街中に溢れているハートを探して、チャリティーにご参加ください。

【「小さな幸せ、ひとつのワクチン」チャリティーキャンペーン詳細】

- 実施期間： 2023年9月5日（火）～10月9日（月）
- 参加方法： 期間中に Instagram で「#ハートアクション」を付け、ハートにまつわる写真や動画を投稿すると、1投稿につき1人分のワクチンが JCV を通して支援国（ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツ）に寄付されます。
- 協賛企業： 日本リユースシステム株式会社、有限会社九南サービス、ビープラスシステムズ株式会社、フジイ化工株式会社、有限会社協栄、ピーアークホールディングス株式会社、株式会社柴橋商会、東武トップツアーズ株式会社、ラサ商事株式会社、株式会社岡三証券グループ、三井住友海上あいおい生命保険株式会社、株式会社ニッソウ
- 前回実績： 投稿数 1万1,989件
(2022年) 投稿数は2021年開催時から約24倍に増加。投稿と同数のポリオ、はしか、結核などのワクチンが、未だ感染症の脅威にさらされる途上国、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの子ども達に贈られました。



※ 対象となる写真や動画は、ハートの商品、イラスト、ポーズ、風景など、ハートであれば何でも問題ありません。

【キャンペーンのご参加企業・団体を募集中】

ご参加方法

キャンペーンへのご協賛

1口5万円からご協賛いただけます。
また、キャンペーンに合わせたタイアップや撮影ブースの設置なども歓迎します。
協賛金の一部がワクチン支援となり、投稿1件あたり1人分のワクチンが、途上国の子ども達に贈られます。

Instagramでのご参加

企業の公式アカウントでも、#ハートアクションを付けてハートの写真や動画を投稿いただければ、キャンペーンにご参加いただけます。
また、自社でアカウントをお持ちでない場合は、JCVに写真等を送っていただければ投稿いたします。

ご参加メリット

プロモーション効果

Instagramの投稿を通して、2,700名を超えるフォロワーに対して、貴社のご協賛・ご協力を告知します。
また、特設キャンペーンサイトにて、企業・商品ロゴを掲出します。
キャンペーンを活用して、貴社の情報を広くPRしていただけます。

SDGs活動への貢献



キャンペーンを通して、世の中の寄付やボランティア活動への関心を高め、途上国の子どもたちにワクチンを届けるなどSDGs活動の推進に貢献できます。

【1日 4,000 人の子どもたちが予防可能な感染症で亡くなる現実とワクチンの必要性】

ポリオ、はしか、結核などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は1日 4,000 人。20 秒に1人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV) は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンの多くは1人分 20 円、高いものでも約 225 円ととても安価です。UNICEF や各国の保健省と協力し、1994 年から1億 2,176 万 7,729 人の子どもたちにワクチンを届けてきました。募金やペットボトルキャップ回収、様々なタイアップ協力などを通じた皆さまのご支援により、昨年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国に1億 1,606 万 6,601 円分のワクチンやコールドチェーン機器を贈りました。



【Instagram キャンペーン開始にあたってのコメント】

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
広報・啓発・教育担当 乙津 俊輔

多くの人たちが、生活の中で「ちょっとした優しい気持ち」を分かち合い、誰もが優しい気持ちになれる社会。そして、それがキャッチボールのように未来に繋がって行く世界。そんな世界を私たちは目指したいと考えています。

日本では、支援や SDGs 活動と聞くと未だ壁を感じる人も多くいます。「お金を寄付しないといけないのでは?」、「参加はしたいけど、何をしたらいいのか分からない。」と考えている人たちもいると思います。

今回のキャンペーンでは、Instagram において#ハートアクションをつけてハートの写真や動画を投稿すれば、誰もが気軽に子どもワクチン支援と SDGs に貢献することができます。昨年も多くの方々が参加してくださり、これが、皆さまに途上国の子どもたちの存在やワクチン支援の必要性を身近に感じて、参加きっかけになると嬉しいです。



【団体概要】

- 団体名： 認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- 代表： 理事長 剣持 睦子（ケンモチ ムツコ）
- 創設者： 会長 細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相相夫人）
- 本社所在地： 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL： www.jcv-jp.org
- 設立： 1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：

竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミックニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

●事業内容：

<開発途上国への子どもワクチン支援>

1 日 4,000 人と言われている、世界でワクチンがないために感染症で命を落とす子どもたち。5 歳未満で亡くなる子どもの約 3 人に 1 人はワクチンで予防可能です。

JCV はこの子どもたちの命を救うため開発途上国にワクチンを贈り、子どもたちの未来を守る活動を行う民間の国際支援団体です。支援者の皆さまからお預かりした寄付をワクチンや関連機器に換え、現地の国連児童基金（UNICEF）事務所及び現地政府と連携して毎年支援国の子どもたちに届けています。2022 年はミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの 4 カ国に 1 億 1,606 万 6,601 円分の支援を実施しました。

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
広報・啓発・教育グループ 乙津、高橋

TEL：080-3094-8232 / 080-5930-3012 FAX：03-5419-1082

E-mail：otsu@jcv-jp.org / takahashi@jcv-jp.org